

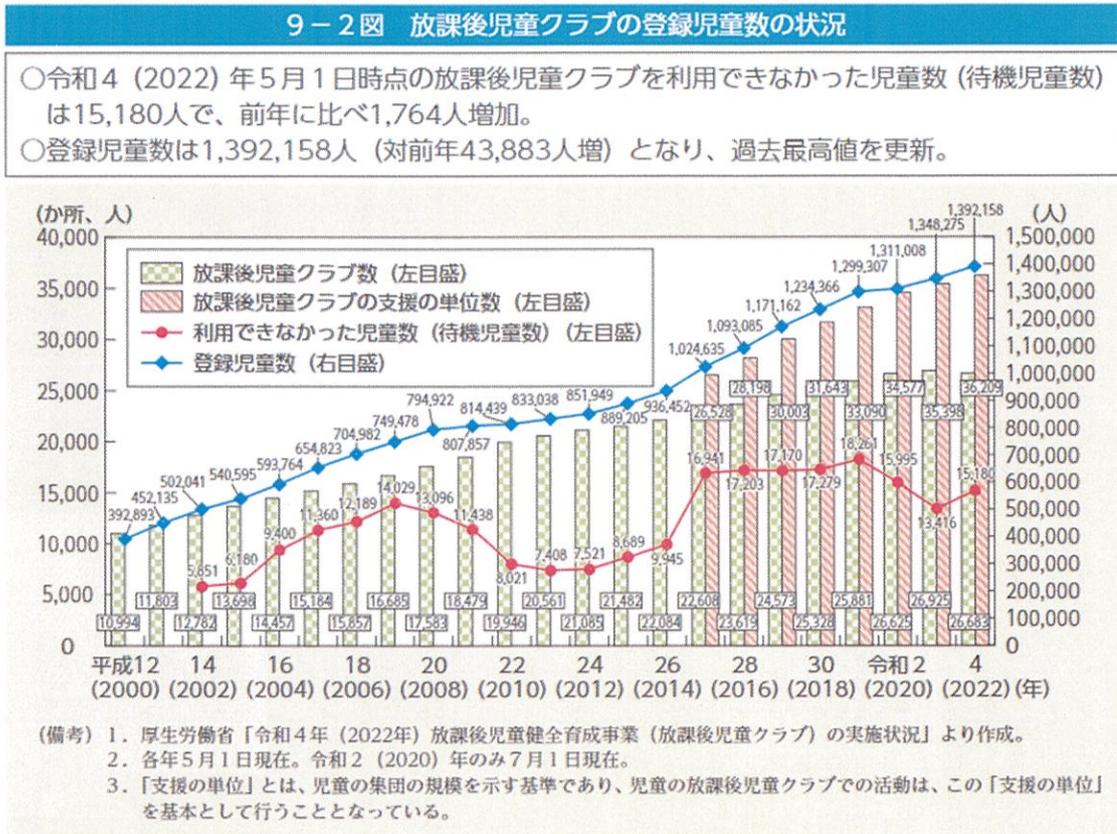
藤女子大学大学院 ウェルビーイング学研究科 ウェルビーイング学専攻
2025年度 第2期 社会人入試 試験問題

【専門科目（人間生活学）】

2025年3月9日（日）
10時50分～12時20分

設問 A

下記のグラフを読み、問1と問2に答えなさい。



出典：令和5年版男女共同参画白書

問1

このグラフ全体から読み取れることを指摘すること。解答の文字数は指定しない（配点20点）。

問2

このグラフをより深く解釈する上で、この他に必要となるデータを2点挙げ、そのデータを必要とする理由も合わせて述べなさい。解答の文字数は指定しない（配点30点）。

設問B

下記の文章を読み、問1と問2に答えなさい。

「男性は仕事」「女性は家庭」という、いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る家庭を前提とした制度、固定的な性別役割分担を前提とした長時間労働や転勤を当然とする雇用慣行等を「昭和モデル」だとすると、職業観・家庭観が大きく変化する中、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会への変革が実現した姿が「令和モデル」であると言える。

出典：令和5年版男女共同参画白書

問1

「令和モデル」を実現するために、現時点で課題となっていることがらを2点挙げ、具体例を挙げながら説明しなさい。解答の文字数は指定しない（配点20点）。

問2

問1で述べた課題の中から1点を選び、その課題を解決するために必要だと思われることがらについて、あなたの考えを述べなさい。解答の文字数は、400文字程度を標準とするが、特に上限は設定しない（配点30点）。

